

新製品 新技術紹介

「金属パイプの絞り加工をプレス金型仕様にした『フレキシブル金型システム』」

橋本 守

有限会社橋本鉄工所 代表取締役
〒492-8264 愛知県稲沢市平野町3丁目75-2
TEL: 0587-32-1617 FAX: 0587-32-1646
URL: <http://www.hashimoto-t.com/>
E-mail: mamoru@hashimoto-t.com



売上が伸び悩む中、この閉塞感を打ち破る為にこの金型技術を駆使した「フレキシブル金型システム」の高度化を推し進めている。

フレキシブル金型システムでは、以下の加工が可能となる。

1. 任意の部位への加工（4m 直管の中央部への加工）
2. 鋼管の材質・管径・板厚等の変化に対応
3. 様々な絞り形状加工
4. 内から外側への穴抜き加工

このように、ステンレス等硬質な金属パイプの絞り加工をプレス金型仕様にする事で、その汎用性が格段にアップすると考えている。

平成 21 年後半、ボルボから大型トレーラーのマフラー部品作成依頼が来た。製品の均一化、ローコスト化、短納期化を測る為、プレス金型仕様での作成依頼だが、関東、東海周辺にあるプレス金型業者からことごとく断われた案件だった。

「鉄は水なり」プレス金型で絞れないものなどないという強い信念で、橋本社長はこれを受けた。

59 年間培ってきたプレス金型

技術と 3D-CAD-CAM を駆使し、翌年 4 月、肉厚 2mm の SUS304 鋼管の管端へ絞りを施すことができるプレス金型を完成させ、現在、部品供給を行なっている。

弊社では、このプレス金型・金属プレス加工技術をバージョンアップさせ、様々な利点を有する「フレキシブル金型」技術を考案。国際特許を視野に入れた特許取得の準備を行っている。

リーマンショック以降、弊社の



SUS ベローズ

弊社で開発中の金属パイプ用の伸縮継ぎ手です。

ベローズ部とフランジは一体成型で、溶接はしてません。座金は絞る前に入れます。



フランジ加工品

SUS304 半径 127mm 肉厚 2mm の鋼管にフランジたて加工をしました。

上記仕様の鋼管なら、40mm ならフランジをたてることができました。